

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

① 第三者評価機関名

社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会

② 施設・事業所情報

名称：華陽保育園	種別：保育園	
代表者氏名：園長 平井 八重子	定員（利用人数）：120名（132名）	
所在地：岐阜県岐阜市五坪1-14-1		
TEL：0573-43-2209	HP： http://www.douhoukai.com/17_guide.html	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：平成20年		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 同朋会		
職員数	常勤職員 19名	非常勤職員 11名
専門職員	保育士 21名	看護師 1名
施設・設備 の概要	乳児室 1室	ほふく室、調乳室、遊戯室、調理室、
	保育室 4室	職員室、医務室、沐浴室

③ 理念・基本方針（※転載）

理 念

同朋会では、各人の尊厳が重んじられその尊厳にふさわしい生活が保障されることを旨に「一つの命を共に生きる」を基本理念とし、また、「『人』として生きることを共に共感しつつ」をサービス提供理念とするとともに職員の行動指針（6つのS）を明確にして各種福祉事業に取り組んでいる。

華陽保育園では法人の基本理念並びにサービス提供理念等に基づき、次に掲げる「保育理念」により日々の保育に取り組んでいる。

- ①児童福祉法並びに保育所保育指針等に基づき、乳幼児に養護と教育が一体となった保育を行う。
- ②保育にあたる職員は命の尊さを基本に豊かな感情を持って接し、保育知識の習得や技術の向上に努めるとともに、子どもの人権や主体性、自主性を尊重し乳幼児の「最善の利益」のために保護者や地域と協力する。
- ③地域における子育て支援に協力する。

<保育方針>

「明るく、健やかでいきいきと遊ぼう！」をモットーに

1. 一人ひとりの子どもの気持ちを温かく受け止める。

2. 健康でいききと遊べる子を育てる。
3. 明るく思いやりのある子を育てる。

<保育目標>

1. 丈夫な子。健康で安全な生活ができ、何でも良く食べ、元気いっぱいの子
2. 心豊かな子。思いやりや優しい気持ちが持て、感性豊かな子
3. 意欲的な子。多様な経験を通して何でも挑戦しようとする子
4. 考える子。良く考えて自分の意見がいえ、友だちの考えも聴ける子

④ 施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

本園は、様々な施設・事業所を展開する社会福祉法人同朋会の中にあつて、保育分野の中核を担っている。多くの事業は計画的であり、法人の中でよく吟味し、制度設計を確かなものとして実施している。

そんな中、子どもたちの生き生きと活動する姿は際立っているが、支える物理的・人的環境の整備にも十分な力が注がれている。とりわけ、人事考課にまつわる仕組や資料の作成は注目すべきものがある。また、人材確保にもよく配慮が行き届き、様々な制度を創設し、いわゆる働きやすい職場を目指していることが窺い知れる。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年10月1日（契約日） ～ 令和3年3月16日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（平成27年）

⑤ 総評

◇特に評価の高い点

華陽保育園は住宅密集地に位置するが、商業地域、岐阜駅等への利便性が高く、多くの住民が住まい、多くの児童の受け入れが期待される施設であろう。一方隣接地には、小学校また小さいながら児童公園を擁し、自らも十分な園庭を確保し、適切な保育環境にあると言える。

当保育園は、社会福祉法人同朋会の擁する一施設である。同朋会は社会福祉事業を多数また多様なジャンルで引き受けており、スケールメリットを生かし基盤を安定させ社会貢献を行っている。保育園は法人内にもう一園あり、同一法人という場を介し、協力また切磋琢磨している姿が垣間見られ、児童支援の場として市内で安定的な位置を確保している。

人材確保または職場の活性化によく努力がなされている。独自の奨学金返済補填制度に始まり、福利厚生充実、超過勤務の低減、デスクワーク業務時間の確保、病後等の職場復帰に伴う短縮勤務といった、きめ細かな配慮がなされている。また、園内研修はもとより、法人主催の合同研修、外部研修にも多く参加が認められ、職員の専門性向上に寄与している。更には次年度就業可否の意向調査、選り抜いた調査シートを作成しての人事考課の実施、またそれに伴う面談も複数回実施され、よりよい環境創出の努力が顕著であると認められる。

朝園庭で、元気な子どもたちに囲まれ、保育士が子どもと一緒に元気に活動してい

る姿がみられた。

◇改善を求められる点

社会福祉法人としての事業の透明性に疑義を唱えるものではないが、ホームページの内容等外向けに表出されたものにやや浅薄感を感じる。多数の事業を擁した法人であり、それを一まとめにして見せることによる難しさは理解できる。ただ、照覧するものにとって華陽保育園は、単独事業と変わらぬ位置づけとなる。様々な分野について表示されんことを希望する。

大きな法人の一事業である本園の経営動向は、一般職員に見えにくいものであろうことは想像できる。伝える努力はよくなされているようであるが、浸透は不十分ではないだろうか。様々な意見・思いを吸い上げ、一般職員もまた、一翼を担っている思いに至らしめる、方策・仕組みを検討されたい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

自己評価をすることで、改めて日々の業務を振り返る機会をいただきました。専門的かつ客観的な視点でいただいた評価を今後の保育所運営に活かしてまいります。ありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。